

競技注意事項

2025 第2回名古屋市小中ナイターの部

1 本大会は2025年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会要項によって実施する。

2 アスリートビブス（ビブス）について

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。跳躍競技は胸または背につけるだけでもよい。
- (2) 1000m以上の距離に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付する。
ランニングパンツの右横や後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 直線種目において逆走を行う場合は、腰ナンバー標識を左横や後方につける。
- (4) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（ゴール前方スタジオ側）に返却する。

3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップは、レクリエーション広場を16時30分（完全撤収）まで使用できる。
また、競技に支障の無い範囲で、パロマ瑞穂北陸上競技場を使用してもよい。ただし、競技に支障があると判断した場合には、使用に関して競技役員から指示を行う。
瑞穂公園内や山崎川沿いの道路、陸上競技場周辺の道路の使用は禁止する。特に陸上競技場北側住宅地内の道路の使用は厳禁とする。
- (2) 大会開始前のウォーミングアップは、16時以降大会の準備に支障のない範囲で、パロマ瑞穂北陸上競技場を使用できる。ただし、男子棒高跳Aに出場する選手については、15時より使用できる。

4 招集について

- (1) 招集所は、200mスタート付近倉庫に設ける。
- (2) 招集は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) フィールド種目は、現地招集とする。トラック種目は招集所で招集を行う。その際、男女100mに出場する選手については、決勝進出の意志を競技者係に申し出る。
- (4) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	招集開始	招集完了
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前	30分前
棒高跳	70分前	60分前

5 競技場への入退場について

- (1) 入退場は係の指示に従い、北側または南側の出入り口より入場することができる。
- (2) 男子棒高跳Aに出場する選手は15時より、その他の競技種目に出場する選手は、16時より入場できる。

6 レーン・試技順について

- (1) トラックのレーン、フィールド競技の試技順は、WEBスタートリスト、WEB記録速報で示す。
- (2) 決勝のレーンは、主催者において公平に抽選し、WEB記録速報、および正面入り口付近に掲示する。
- (3) 欠場のレーンはあける。
- (4) 走幅跳の1組はAピット、2組はBピットで競技を行う。

7 トラック競技の次のラウンド進出の決定について

- (1) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できないときは抽選とする。
(競技規則 TR.21)
- (2) 抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。アナウンスしてから10分以内に本部へ集合する。
- (3) 進出決定者は、WEB記録速報および、および正面出入りに掲示する。
- (4) 100mについては、招集時に決勝への出場意志を示した選手の中から、男子は予選記録の上位80名、女子は56名で決勝を行う。また、決勝は予選の記録下位の選手が1組となるように編成する。

8 競技について

- (1) トラック競技は、競技規則 TR16.7により、不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。
- (2) トラック競技の直線種目で逆走を実施する場合は、該当種目の1組目の競技開始時刻1時間前までに決定し、アナウンスや大型映像で連絡する。
- (3) 100mスタート後方にスターティングブロックの練習場所を設ける。レース前スタート練習はブロック設置後1、2歩とし、速やかにスタート位置に着くようにする。
- (4) 男子3000mは2段階スタートで実施する。
- (5) 走幅跳の試技は3回とし、決勝は行なわない。
- (6) フィールド競技の招集後競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。
- (7) 棒高跳のバーの上げ方は下記のとおり。状況により変更することがある。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子棒高跳A	フリー	1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	2m90	以後10cm
男子棒高跳B	フリー	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10	以後10cm
女子棒高跳A	フリー	1m60	1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m70	以後10cm
女子棒高跳B	フリー	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m70	以後10cm

- (8) 棒高跳びの練習は2つの高さを時間で区切って行う。競技者はその時間内で競技役員の指示のもと自由に練習してよい。
- (9) 棒高跳競技者は「棒高跳支柱位置申請」を競技場所で口頭で行う。

9 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、全て主催者が用意したものを使用する。
ただし、棒高跳用ポールは個人所有の物が使用できる。
- (2) フィールド競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。2個まで使用できる。

10 競技用シューズの規定について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内。スパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) 使用するシューズについては、競技規則 TR5.2を適用する。
- (3) 規定外シューズ使用者の扱いは「失格扱い」とする。競技後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格の扱いとする。

11 入場制限について

- (1) 監督・コーチ・保護者・応援選手のスタンドへの入場は、競技場外にある階段より入場すること。また、競技場内に入場することはできない。選手がスタンドに上がる場合も、競技場外から入場すること。
- (2) スタンド最前列での立っての応援や観戦は禁止する。

12 その他

(1) 記録発表について

記録の掲示は行わない。アナウンス及びWEB記録速報で発表する、なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時刻とする。

- (2) 氏名・所属等の訂正は本部に申し出る。
- (3) 表彰は行わない。
- (4) 100m 走では、フィニッシュ後も安全確保のために、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走り、減速し止まること。逆走の場合は直走路を走り減速する。
- (5) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は、各自で管理する。
- (6) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。
- (7) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、近くの審判員またはトレーナーに声をかけ、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (8) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任もって行い、環境美化に努める。
- (9) 台風等で中止となる場合は、名古屋地区陸上競技協会のHP (<http://nagoyatf.xyz>) に当日 11 時に可否を掲載する。
- (10) 待機場所について（別紙参照）